



2024年度甲状腺検査活動、 2025リフレッシュツアー報告会 の参加報告

～2025年12月13日生活クラブ連合会にて～
自然エネルギー委員会から4名(1名はオンライン)が参加

子どもたちの未来を守る 継続的な甲状腺検査

生活クラブは、福島第一原発事故で放出された放射能の影響による子どもたちの甲状腺がんを懸念し、2012年から独自の甲状腺検査活動を継続実施するとともに、保養のためのリフレッシュツアーが各地の単協により取り組まれてきました。これらの活動は、組合員からの復興支援カンパをもとに、困難や不安を抱える人への息の長い支援として、2025年度までを想定したさまざまな活動の一環です。

報告会では、はじめに2024年度甲状腺検査活動の報告が行われ、活動の経緯や受診者数、検査結果が報告されました。2012年度から毎年行ってきた検査活動は、福島県による検査との比較を通じて、放射能による子どもたちの甲状腺への影響を明らかにすることを目的に、事故のときに福島県にいた子どもだけでなく、福島県外の子どもにも検査を行っています。(2024年度は全体で200人受診)これまでの13年間の取り組みにおいて、甲状腺の所見の変化を捉えることができたことや、リフレッシュツアーとともに脱原発活動の推進につなげてきたのは大きな成果である一方、2015年～2016年をピークに受診者数が減少し、活動で得られる受診規模では福島県による県民健康調査との単純比較は難しい状況になっており、連合会呼びかけの検査活動は2025年度をもって終了とすることが決定しています。



放射線に安全な量はない

生活クラブの甲状腺検査活動を監修している松崎道幸さん(道北勤労者医療協会・ながやま医院院長)の講演では、被ばく線量と発がんリスクについての多くの解析データを示しながら「100ミリシーベルト論」(100ミリシーベルト以下の被ばくでは甲状腺がんは発症しない)に対し「100ミリシーベルト未満の被ばくでも甲状腺がんが発生することが証明されている」と反論されました。そして、生活クラブの甲状腺検査事業について、「大規模放射線被ばく災害に対する市民の切実な要求にこたえて、市民に寄り添って、健康被害を明らかにし、対策を要求する重要不可欠な活動」と語られました。

続いて講演された崎山比早子さん(3・11甲状腺がん子ども基金代表理事)からは、福島県においてこれまで明らかになっている400人以上の甲状腺がんの多発について、「被ばく線量が低く、線量と罹患率に相関関係が見られないので放射線被ばくの影響とは考えられない」(福島県立大、福島県民健康調査検討委員会)とされていることについて「被ばく線量の正しい実測値は存在せず推定値である。罹患者数は実測値であり、推定値により実測値を否定するのはおかしい。」との話がありました。また、放射線被ばくによるDNA損傷と発がんの関係性から「放射線に安全量はない」ことを明らかにされ「低線量でも発がんリスクがあるということが社会的通念になれば原発はできなくなる」とも。

リフレッシュツアー の報告

被災地の子どもたち(と家族)を受け入れた愛知・さがみ単協から、それぞれの地域での工夫を凝らした取り組みが報告されました。

子どもたちや組合員の交流を通じて、新たなつながりが生まれていることが、伝わってきました。

原発事故は終わっていない 暮らしの中から原発にNOを言い続ける

誰かの犠牲のうえに成り立っている、原発という技術を私たちはもう手放すべきではないでしょうか。今の日本のエネルギー政策のもとでは、原発から作られたエネルギー(電気)を使わないということはできません。電力消費地に住む私たちができることは、再生可能エネルギーから作られた割合の高い電気を使うことによって、原発はいらないという意味を示すことではないでしょうか。

「生活クラブでんき」は再生可能エネルギーの割合が9割以上。

電気を変えて、脱原発への一步を踏み出そう! (報告:三宅久美子)



2025年
9月1日より
提携

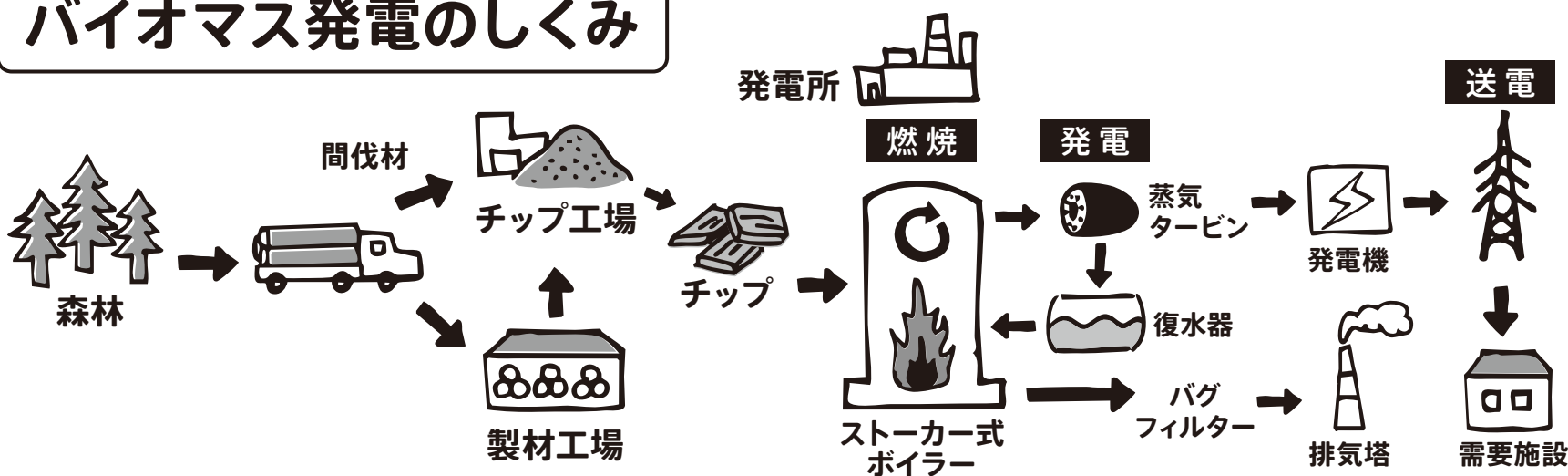
\ 生活クラブでんきの新しい生産者 / いづなお山の発電所

長野県北部にある「いづなお山の発電所」は(株)マルモ青木味噌醤油醸造場さんからの紹介でつながった新しい生産者です。森林整備にともなう間伐材などの未利用材、製材所からの端材、建設廃材など木質由来の廃棄物をチップ化した国産木質バイオマス燃料のみを使用して発電しています。

発電規模 一般家庭 400~450 軒の
1300kW 年間消費電力量をまかなえる



バイオマス発電のしくみ



廃材や廃棄物を活かしてつくるバイオマス発電は、天気や季節の影響を受けにくく、発電量が安定。森林を整備し間伐することで、森林の再生にもつながります。

生活クラブでんきにスイッチしよう!

- お申込みはWEBまたはエネカードで!
- 手続きカンタン! 解約手続き不要!

(今契約の電気会社の)

お申込み
ページは
こちら→



scenergy.co.jp

生活クラブでんき 検索

お問い合わせ 0120-112-075

生活クラブでんき
エネカード

生活クラブでんきの資料、契約書をお届けします

下記□に✓を入れ必要事項を記入し配達便で提出してください。

契約を申し込みたい 説明を聞きたい 資料が欲しい

名前	電話番号	組合員コード

〈戻り先〉
生活クラブ生活協同組合大阪
組織運営課 0726-41-5561

※連絡させていただく場合があります
※記入された情報は規則に沿って管理し
生活クラブ生活協同組合大阪の活動
以外の目的には使用しません。